算 数	課題分析	授業改善策
1 年	・文章問題を正しく読んで理解し、たし算か	・具体物や半具体物等を用意したり、デジタ
	ひき算かを判断して正しい式を立てられ	ル教科書を活用したり、視覚的に文章の意
	ない。    [思考・判断・表現]	味を理解できるようにする。
		[思考・判断・表現]
1	・基本的な加減法を正確に計算できるように	・習熟の時間を毎時間作ったり、デジタルド
	することが、課題である。	リル等を活用したりしながら、児童の理解
	[知識・技能]	を深めていく。 [知識・技能]
2 年	・基礎・基本の理解が不十分で、学習内容が	・単元ごとの習熟プリントなどを活用し、知
	定着していない児童が一定数見受けられ	識の定着を図る。 [知識・技能]
	る。 [知識・技能]	
	・文章問題を正しく読んで理解し、式を立て	・具体物や半具体物等を操作したり、デジタ
	たり答えを求めたりすることに課題があ	ル教科書を活用したりしながら、問題設定
	る。 [思考・判断・表現]	の場面状況をより正しく理解できるよう
		にする。 [思考・判断・表現]
	・学習に対して受け身になってしまう児童が	・子供たちと一緒に問いを作ったり、目的意
	一定数見受けられる。	識を持たせる場面を意図的に設定したり
	[主体的に学習に取り組む態度]	する。 [主体的に学習に取り組む態度]
	・大きい数、時刻と時間の求め方、表とグラ	・めあての明確化、まとめや振り返りを確実
	フなど、基礎・基本の概念が確実に身に付	に行うことを繰り返す。ICT を利用し、板
	いていない。 [知識・技能]	書を構造化していく。課題のある児童には
3		個別指導を増やす。 [知識・技能]
年	・文章題の題意を理解し、自分の考えを明確	・文章題からイメージすることを図や言葉で
'	にして、問題解決できるようにする必要	表し、立式の根拠をもったり、それを友達
	がある。 [思考・判断・表現]	と交流したりして、考え方を確かめたり広
		げたりできるようにする。
		[思考・判断・表現]
4 年	・小数、分数の意味や表し方、図形の構成を	<ul><li>教科書の振り返りやノート、ドリルなどに</li></ul>
	理解し、整数、小数、分数の計算、作図す	よる復習を行い、習熟を図るとともに、東
	る技能が身に付いていない。	京ベーシック・ドリルやデジタルドリル等
	[知識・技能]	を日常的に活用し、定着を図る。
		[知識・技能]
	・数直線や図を使う良さを知り、数直線や図	・問題文を数直線や図に表現する場面を設
	を用いた問題解決方法に慣れる必要があ	け、児童同士の交流を通して理解を深める
	る。    [思考・判断・表現]	ようにする。 [思考・判断・表現]

	・小数のかけ算、わり算、面積や体積の計算	<ul><li>教科書の振り返りやノート、ドリルなどに</li></ul>
5 年	といった基礎・基本を定着させる学習活動	よる復習を行い、習熟を図るとともに、東
	を適宜設ける必要がある。「知識・技能」	京ベーシック・ドリルを活用し、定着を図し
		る。 「知識・技能」
	・文章題の意図を読み取り、正確に立式でき	・随時教科書の振り返りを行い、数直線や図
	るようにすることが課題である。	を用いた解決方法を確認し、定着を図る。
	「思考・判断・表現」	既習事項を活用し、問題文からどのような
	[A. 7 1961 SC 26]	式になるかを作図や言葉から導き出せる
		ようにする。児童同士で説明し合い、理解
		が深まるような学習方法を工夫する。
		「思考・判断・表現」
	・基礎・基本の理解が不十分で、学習内容の	・教科書やドリルを活用し、練習問題や復習
	積み重ねが見られない児童が多い。反復練	を繰り返し行うことで、確実な定着を図し
	習や定着を図る指導を強化する必要があ	る。単元ごとに理解の確認を行い、つまず
	る。「知識・技能」	きの早期発見につなげる。[知識・技能]
6 年	・思考力・表現力を要する課題に児童間の理	・既習内容の活用や、図・表・グラフ・式な
	解差が大きく、考えを深めにくいため、多	ど多様な表現手段を用いた解決活動を通
	様な考え方に触れる機会を意図的に設け	し、根拠をもって自分の考えを説明できる
	る必要がある。 [思考・判断・表現]	ようにする。    [思考・判断・表現]
	・学習に対して受け身であり、主体性や粘り	・話合いや協働活動を通して、学び合いなが
	強さが十分でないため、学習意欲を高める	   ら、粘り強く考える姿勢を育てる。また、
	工夫が必要である。	   学習の見通しや振り返りの時間を設け、自
	[主体的に取り組む態度]	   らの課題に気付き、目標をもって取り組め
		るようにする。 [主体的に取り組む態度]
専		Les Mart Martin
科	課題分析	授業改善策
	・歌声や楽器の音色の美しさ、他者と協働し	・児童同士で考えを共有したり、表現を工夫
	て表現する喜び等に気付くことができる	したりする場の設定を多くすることで、他
音楽	課題提示の工夫をする必要がある。	者と協働して表現する喜びを感じ、主体的
	[主体的に取り組む態度]	に取り組めるようにする。
	・音楽を聴き、その要素と構造との関わりを	[主体的に取り組む態度]
	結び付けて演奏したり聴いたりする学習	・演奏したり鑑賞したりするときに、音色や
	活動を意図的に設定する必要がある。	音楽の要素や構造に触れ、表現に生かす活
	[知識・技能]	動を設ける。 [知識・技能]

	・児童がつくりだす活動を楽しめるように、	・児童の実態に応じて造形遊びや共同でつく
	各学年の実態に合った題材設定をする必	る活動、鑑賞活動などを多く取り入れ、発
	要がある。 [主体的に取り組む態度]	想・構想することへの抵抗感を取り除いて
図	・生活体験の個人差が大きく、知識や技能に	いく。 [主体的に取り組む態度]
画	差が出やすいため、導入での全体指導・個	・ICT を活用して具体的に動画で見せたり、
エ	別重点的に行う指導をそれぞれ充実させ	板書で時間や手順を明確に示したりして、
作	ていく必要がある。 [知識・技能]	児童が自分の力で活動できるようにする。
		また、児童一人一人の図工ファイルを作成
		し、制作や思考の傾向を授業者が把握でき
		るようにする。 [知識・技能]
	・生活習慣と関連させた学習内容を提示し、	・実生活の課題や、よりよい生活のために自
	家庭生活で実践する意欲を喚起できる課	分にできることを考えさせ、積極的に取り
家	題を設定する必要がある。	組めるよう指導する。
庭	[主体的に取り組む態度]	[主体的に取り組む態度]
	・調理の実践的な学習を生かした課題を設定	・ICT 機器やワークシート等を活用し、家庭
	し、日常生活で技能の定着を図る必要があ	での実践について指導し、振り返りを行
	る。 [知識・技能]	う。 [知識・技能]